

令和2年度 大野学園（大野中学校） 学校だより
3月16日(火) 発行

卒業号

べにまんさく



学校教育目標 「大野から高い志をもった若者を！」
スクール・モットー 「チーム」と「貢献」

☎739-0441
〒日南市大野原四丁目2番60号
☎0829-55-2015 FAX 0829-54-0475
✉ono-j-soshiki@hatsukaichi-edu.jp
校長 田坂 裕一

令和2年度 第74回 卒業証書授与式 (3/11(木))



学校長 式辞(一部抜粋)

本日巣立ちの日を迎えた104名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの手にあるその卒業証書は、大野中学校で、今日まで、熱心に学業や運動に励み、義務教育の全てを終えたことを証するものです。自分がこれまで積み重ねてきた努力の日々を振り返り、どうぞその誇りを胸に感じてください。

私はご縁をいただいて、3年前にこの大野学園にやってきました。その時皆さんは中学校1年生、表情にもまだ幼さの残る皆さんと江田島に集団宿泊研修に行ったことを思い出します。汗をかきながら走り回った所内ビンゴや体育館でのキャンドルのつどい、厳しい Cutter 訓練、暑いなかの研修でしたが楽しく、充実した研修になりました。中学校2年生、昨年2月の立志式での皆さんは、とても凛としていました。背筋をしっかりと伸ばして将来の夢や希望を語る姿がずいぶん頼もしく見えたものです。皆さんの成長を強く感じた一瞬でした。

3年生になってからは、新型コロナウイルス感染症への対策から早々に学校が休校になるなど、生活のリズムを整えることが難しい新学期となりました。予定されていた学校行事も、中止、延期、縮小を余儀なくされ、数々の制約のなかで学校生活を送ることになりました。そのなかであって、皆さんは持ち前の素直さと前向きな姿勢で、リトルティーチャーの取組、クラスマッチなどの活動を、自らの手で充実したものに変えていきました。皆さんのポジティブな姿が大野学園のリーダーとしてのプライドと底力を見せてもらった気がします。

今、卒業の時を迎え、これから新しいステージに進む皆さんに、私から紹介したい言葉があります。それは「世界人となるべし」という言葉です。

2020年は日本でオリンピックが開催される年でした。1年延期された東京オリンピックは、現在、7月の開催に向けて準備が進められています。

1896年に始まった近代オリンピック。その歴史において、皆さんは、日本人で初めて金メダルを獲得したのが、広島県出身の選手であったと知っていましたか。その人物とは、今から90年以上前に、陸上競技で活躍した織田幹雄さんです。彼は、オリンピック2度目の出場となった1928年のアムステルダム大会において、三段跳びで15m21cmを記録し、日本人で初めて金メダルを獲得しました。そして、選手引退後も指導者として力を発揮し、日本陸連を創設するなど、戦後の日本の陸上競技の振興に全身全霊を傾け、「日本陸上界の父」と呼ばれるようになりました。

「世界人となるべし」という言葉は、その織田幹雄さんが今から70年以上前に残した言葉です。海外に行くことがままならなかった時代に、異国の地の慣れない環境をものともせず、一人のアスリートとして堂々と競技に向き合って結果を出し、引退後もコーチを頼まれればどのような国や地域にでも出向き、自分の知識や経験を惜しげもなく伝える。国境や国籍にとらわれないこと、外国の人に対して、優越もなければ、卑屈になることもない。てらいもなく、自分が極めようとしていることに超然と立ち向かう。心の中には、いつも「自分は世界人としていたい」との思いがあったようです。93歳で亡くなるまで、陸上のコーチとして訪れた国は40か国以上にのぼったとのことでした。

2021年、情報通信技術の飛躍的な発展もあって、グローバル社会が進む現代。いやおうなく、地図上の国境など簡単に飛び越えて世界の人々と競争もし、協働もする新しい社会に生きる皆さんには、そういう時代だからこそ「世界人」という言葉を意識してもらいたい、私は強く思います。

さあ、皆さん、旅立ちの時です。皆さんの目の前に広がる世界に決して臆することなく、これまでの努力をエネルギーに変えて、堂々と胸をはって自分の道を進んでください。君たちならきっとできる。皆さんの健闘を心よりお祈りし、式辞といたします。

学校だよりはホームページでカラー版をご覧いただけます。

在校生代表 送辞(一部抜粋)

先輩方にとって3年間の中学校生活はいかがだったでしょうか。大野中学校で過ごすのも今日で最後だと思うと、様々な思い出が思い出されるのではないのでしょうか。2年前の入学式、右も左もわからない私たちを温かく迎え入れてくださり、不安でいっぱいだった中学校生活が楽しみに変わったことが今でも思い出に残っています。部活動ではいつも後輩たちの見本となり、ていねいに指導してくださいました。体育祭の縦割り行進では、練習の時から足並みをそろえ団結し全力で取り組む姿勢を示してくださいました。3年生の皆さんは、私たちにとって、中学校生活を導いてくださった、一番身近で一番優しい先輩でした。そんな先輩と過ごす最後の年、この1年間は、新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受けました。4月から、休校や分散登校、部活停止と、なかなか新しいスタートが切れませんでした。本来であれば、3年間で最も一致団結し、盛り上がるはずの体育祭や学園祭が中止となり、誰よりも3年生の皆さんが悔しい思いをしたと思います。しかし、この先の見えない中、学校生活を明るく盛り上げてくれたのは間違いなく先輩方です。生徒会執行部を中心に先輩方は、委員会ごとのクラスマッチなど、たくさんの楽しめる生徒会行事を考え、大野中学校を大いに盛り上げてくださいました。私たちの模範となり、大野学園をひびかせてくださる先輩方の姿は、私たち自身の成長の糧でした。そして、逆境にくじけず常に新しいことをしようとする姿は、学ぶきっかけをくださいました。まだまだ未熟ではありますが、これから私たちは先輩方から学んだ「コロナ禍でも行動を起こそう」という気持ちを受け継ぎます。さらに新しい歴史を刻んでいけるように努めて参ります。これから先輩方は、それぞれの未来へ歩き出します。これより先には想像もつかない出来事もあるでしょう。ちょうど10年前の今日、当たり前の日常を奪った東日本大震災。そして今、当たり前の日常を変えつつある新しいウイルス。日常が続くわけではないこの社会で、目の前に壁が立ちふさがることがあるかもしれません。そんな時は思い出してください。私たちに見せてくれた逆境に負けない明るさ、強さを。そして、大野学園で築き上げた仲間との繋がりを。先輩方なら、人との距離が遠い「今」を乗り越えられると信じています。

卒業生代表 答辞(一部抜粋)

今思い返してみると、大野中学校で過ごした3年間はあっという間でした。希望と不安に胸を膨らませ、大きな制服に身を包み、大野中学校の校門を通った3年前がまるで昨日のこのように感じます。入学式で自分の名前が呼ばれ、まだ聞きなれない校歌を聞いているうちに「中学生になった。」という実感が湧いてきました。ここから私達の中学校生活が始まりました。あれから3年間、仲間と共に笑ったり、泣いたり、時には怒ったり、喜怒哀楽がぎゅっと詰まった日々。大野中学校での生活を通して、様々なことを学びました。

1年生、何もかもが初めてで1日1日がとても濃い1年でした。特に体育祭と学園祭では、先輩の2、3年生が学校行事の準備をしたり、私達後輩を率先して引っ張ったりする姿に憧れを抱いたことを覚えています。また、江田島合宿の Cutter 研修を通して、仲間と協力することで多くのことが成し遂げられると学ぶことができました。

2年生、初めての後輩ができ、少しずつ大人に近づいたと感じる1年でした。2年生の思い出といえば、やはり修学旅行です。その中でも特に、1日目のユニバーサルスタジオジャパンでのことが心に残っています。一度も行ったことがない場所で計画通りに行動するために一から自分たちの班で計画を立てることにやりがいを感じ、とても新鮮でした。修学旅行を通して、仲間との絆だけではなく、「自分の進む道は自分で決める。」ということを少しずつ考えるようになりました。

3年生、最上級生となり、後輩を引っ張っていくことと進路に向けて勉強することの両立が大変になる1年でした。新型コロナウイルスによる感染拡大予防で、1学期は休校や分散登校でなかなか最高学年の自覚が持てませんでした。その中で、部活動が始まり、学校で過ごしていく中で少しずつ自覚が湧き、「今できることを全力でやろう。」と思うようになりました。この1年は、今まで通りに過ごすことはできませんでしたが、そんな中でも自分たちにできることは何か考えて行動することの大切さを学ぶことができました。また、改めて家族や友達、先生方の大切さにも気付くことができました。

この3年間、大野中学校で仲間と共に日々学べたことはかけがえのない、本当に大切な宝物です。先生方、これまで私達のために授業だけでなく部活動や進路指導など多くの場面で助けていただきました。先生方に教えていただいたことを大切に、これから自分達で選んだ道を進んでいきたいと思えます。

そして、在校生の皆さんには今日直接お別れできないのは残念ですが、どうか大野中学校をより良い学校にしていってほしいと思っています。

最後に、3年生の皆さん、仲間との別れは悲しいですが、私達はそれぞれの夢のために選んだ道があります。その道に向かって、一人一人が新たな仲間たちと進んでいきます。これから大きな壁に当たってくじけそうになっても、みんなの笑顔や楽しかったことを思い出して、この母校大野中学校の卒業生である誇りを胸に高い志を持って、それぞれの夢に向かって進んでいきましょう。



担任の先生と学び舎をあとにします。



1組



2組



3組